

vol.1 Saishigakuhoren NEWS

埼私学保連ニュース

平成19年9月発行
発行/埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会

さいたま市浦和区高砂 4-13-20 埼玉私学会館内
TEL 048-866-4478 FAX 048-866-4479



設立のごあいさつ

会長 佐藤 年彦

平成19年2月18日に埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会（略称：埼私学保連）が産声を上げました。

この埼私学保連の誕生にあたり、準備していただいた発起人のお一人お一人に感謝申し上げます。

その後、6月23日に第一回定期総会を開催し、役員・理事が正式に承認され、ようやく、歩き出すことができました。

具体的には、平成19年度の活動方針にもありますが、私学振興と青少年の健全育成のために「公私間格差是正の請願署名」「私学振興大会」「研修会」等々を行ってまいります。

埼私学保連はスタートしたばかりの新しい組織ですが、単位保護者会の皆様方の協力を得ながら、役員・理事一同、団結して活動してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

また、この会は中高協会*1・中高連*2・日私学保連*3等の関係私学団体とも協力して活動することになりますので、この点もよろしくお願い申し上げます。

埼私学保連は来年、一歳の誕生日を迎えます。さらに歳月を重ねながら、毎年成長していくのが楽しみな、そんな会にしていきたいと思っております。

(※1：埼玉県私立中学高等学校協会 ※2：日本私立中学高等学校連合会 ※3：日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会)



19年2月18日に開催された埼私学保連の設立総会。雨天にもかかわらず、600名近い出席者があった。



埼私学保連は...

私学助成運動や青少年健全育成などの私立学校振興のため、県内私立小学校・中学校・高等学校の現役役員を中心とする県内組織として、平成19年2月18日に誕生しました。

21世紀を担う青少年の健全育成や児童・生徒の安全、防災・防犯問題等についても、保護者間で情報を共有し、関係団体と相互に協力して、私立学校教育の充実・発展に寄与していきます。

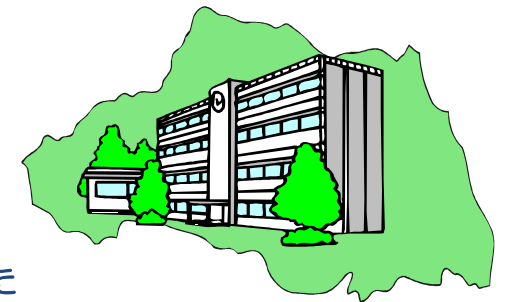
7月28日現在、加盟団体は30校33団体となっております。



◆◆平成19年度日私学保連 全国大会(静岡)参加報告◆◆

平成19年7月12日~13日

埼私学保連 副会長 茂木 正



ようやく歩き始めた埼私学保連ですが、早速、静岡市で行われた日私学保連全国大会へ参加いたしました。

また、来年度の全国大会の開催を埼玉でと打診されていることもあり、理事役員と事務局を含めた9名は勇躍として東京駅に集合し、開催地の静岡市を目指しました。降り出した雨にぬれることもなく駅前のホテルセンチュリー静岡に入りました。

熱気あふれる全国大会

全国から集まった約250名の総会は熱気あふれるものでした。稲田会長の挨拶と開催地静岡の稲森会長の挨拶、来賓も国会議員、文部科学省などそうそうたるメンバーからご挨拶をいただき、私学振興の最高組織に来ているといった実感を持たせていただきました。

総会議事の中で埼玉県の加盟が正式に認められ、佐藤会長に加盟証書が授与されました。

平成20年度全国大会 埼玉に決定

いよいよ埼玉で来年度は正式に全国大会を行うことが決まり、私達も次年度へ向けての決意を固める時がきたようです。佐藤会長の挨拶の中にその意気込みを感じ、我々もそれを共有していきたいと思いました。埼玉県の私学教育を高揚させるために全国にアピールしていく機会を与えていただいたととらえ、埼玉での全

国大会を成功させようという気持ちの高ぶりをその時感じていました。

役員の皆様方と同行させていただいた二日間でしたが、私学振興に寄せる全国からの熱い声に共鳴し、埼玉も、もっと皆さんの力を結集し、高めていきたいと決意を新たにしました。また、日頃会議の場でしか会えない皆様と二日間を共にさせていただいたことで、一体感と意思の共有といったようなものも生まれ、大変有意義な楽しい二日間を過ごさせていただきました。埼玉で行われる次年度への責任と自覚を改めて感じています。皆様のさらなるご協力とご指導をお願いいたします。



研修会会場となった静岡県立大学のキャンパス

埼私学保連に

エール



稲田会長

日私学保連の稲田会長は、当会の定期総会に来賓として京都から駆けつけ、祝辞を述べられた。
「保護者会連合会は、子どものため、学校のために存在する。このたび埼玉に新しい保護者会連合会が結成されるにあたっては、多くの困難を伴ったと思いますが、子どもの教育のため、剛毅果断に設立されたことに敬意を表します。今後は、全国の仲間とともに力強く歩んでいきましょう。埼玉の活躍に期待いたします。」とエールを送られた。

編集後記

昨年の今頃はまだ影も形もなかった埼私学保連。それが第1回定期総会も開催され、機関紙の発行までに至りました。

「何も無い」ところから立ち上げた原動力は「情熱」でした。事の大変さが「未知」だったから飛び込めたという面もありますが...

Vol.1 はいかがだったでしょうか？皆様との間のパイプ役になれるよう、今後も情報を発信していきたいと思っております。

(M・M)

平成19年度定期総会

6月23日（土）に、小松原高校体育館において、平成19年度定期総会が開催されました。当日は総勢約500名の参加を得て、盛況のうちに滞りなく議事を終了することができました。

19年度役員・活動方針・事業計画・予算・分担金の金額と納入方法等の議案のすべてが、満場一致で承認されました。



中高協会
松崎会長のあいさつ



平成19年度の役員一同



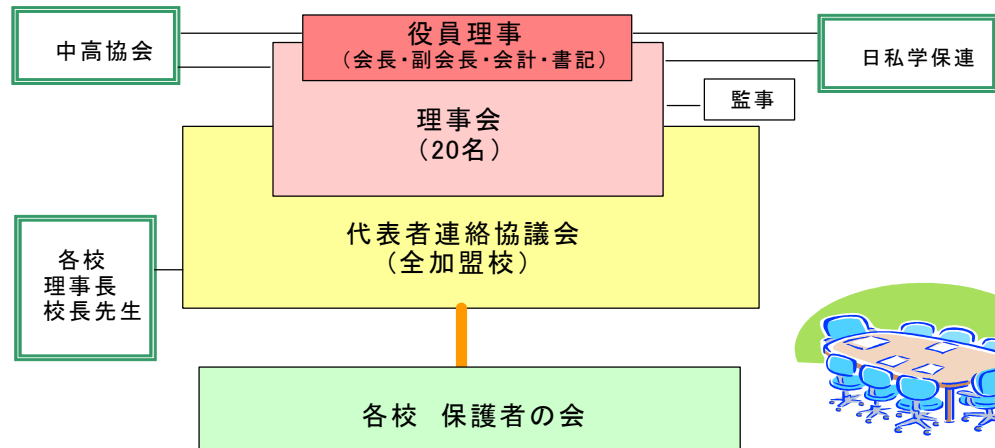
アトラクション
小松原高校合唱部



埼玉私学保連 組織のイメージ

埼玉私学保連は、運営を加盟校すべてにわかりやすく見えやすい形で行っていただくため、情報の共有化をはかり、各校の意見を吸い上げ、運営に反映させていくシステムを作っていくかなければならないと考えています。

その第一歩として、加盟校すべての代表者によって構成される代表者連絡協議会を設置しました。



請願署名活動



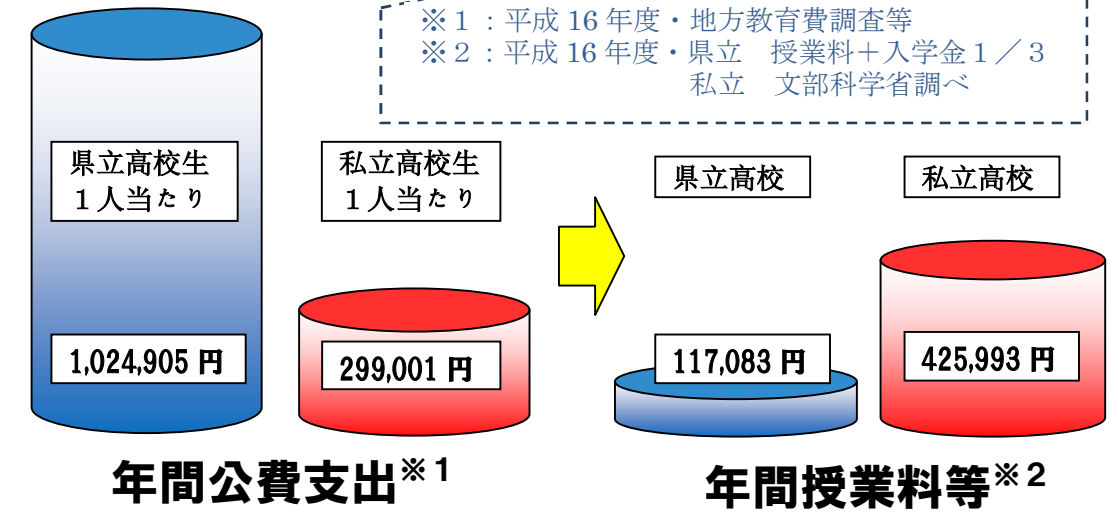
公私立の間には、下図のとおり公費の支出や授業料負担など大きな開きがあります。また、埼玉における私学運営費補助額は3年連続で減少しているのが現状で、生徒1人当たりの補助金の全国最高額約48万円に対して、埼玉県は26万円と全国最下位となっています。

学校は授業料と運営費補助金とで成り立っております。埼玉県の多くの学校は30年以上経て施設が劣化しており、耐震化が急務である現状です。学校の経営努力だけでは限界にきており、私学運営費補助額の減少は、教育の質の低下につながる懸念があります。

そのため、埼玉私学保連は中高協会と連名で、9月の県議会に向けて請願の準備を進めてまいりました。今回は埼玉私学保連がはじめて取り組む署名活動であり、70万人を目標に取り組んできました。

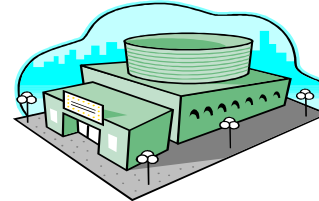
活動内容

- ◆ 私立学校振興対策
- ◆ 青少年の健全育成
- ◆ 会議の開催
- ◆ 研修会の開催
- ◆ 関係団体との連絡提携
- ◆ 広報活動の充実



私学振興大会

私学振興は埼玉私学保連の活動の最も大きな柱です。振興大会は、関係者が一堂に会して、県内私学の現状・課題等の情報を共有し、今後の活動に向けて気持ちをひとつにしていくための大会です。公私間の格差是正を行って、学校選択の幅を広げ、埼玉県の私学教育の質を高めていくことのできる環境を、力を合わせてつくっていきましょう。



埼玉私学保連は
 ☆平成20年度*高等学校総合体育大会
 (インターハイ)埼玉県実行委員会
 ※来年埼玉県でインターハイが開催されます
 ☆埼玉県公私立高等学校協議会
 ☆青少年育成埼玉県民会議
 に参加しています。

埼玉県私学振興大会

—私学教育を考える集い—
 日時 11月22日(木)
 午後 2:00~
 会場 さいたま市文化センター

ぜひとも多くの方のご参加をお願いいたします。